

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2023年度)

専門分野区分	デザイン・作画技法	科目名	基礎デザイン				科目コード	D0410B1		
配当期	前期	授業実施形態	通常				単位数	4 単位		
担当教員名	本庄 剛	履修グループ	1I(GD/MD/SD/SL)				授業方法	演習		
実務経験の内容	東京芸術大学大学院絵画科油画専攻を卒業。在学中は美術予備校や絵画教室にて講師の職に就く。卒業後はWEBデザイン業務に従事し、高級不動産や旅行サイトのWEBデザインを多数手掛ける。一念発起し、自身の服飾ブランドを立ち上げ、現在も継続中。40代になり、改めて自身の能力を活かせる場を模索し、改めて美術・デザイン講師の職に就く。									
学習一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・デザインの視覚的な表現の基礎的な方法・技法・原理に対する理解を深める。 ・構成と心理について理解し、視覚伝達における訴求を踏まえた構成・構図ができる。 ・デザイン制作手法について理解し、効果的なデザイン制作ができる。 									
授業の概要および学習上の助言	デザインにおける基礎的な視覚伝達表現の方法・知識の習得。視覚表現の理論を実際のデザイン制作にどのように活かすことができるかを説明する。実習では平面構成を主体とした制作を課題として出題する。アイデアラフの作成でイメージを固め、計画的なデザイン制作を心がけるよう課題に取り組んでほしい。									
教科書および参考書	授業ごとに課題の要点を記したプリントを配布します。									
履修に必要な予備知識や技能	日常目に触れる、デザインに対し日ごろから興味を持って接すること。課題テーマに関わる資料等を、各自で日ごろから収集するなどデザインに対する関心を持つこと。									
使用機器	透明水彩絵の具、ポスターカラー、筆、筆洗、方眼三角定規、直定規、筆記用具 その他									
使用ソフト	手描きでの制作のためパソコンは使用しません。									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	【デザインの基本】デザインすることの意味を理解し、どのような手法を選ぶべきかを判断することができる。								
	1	【構成エレメント】デザインを構成する要素(点・線・面・色・素材・空間など)を効果的に扱うことができる。								
	1	【構成と心理】心理的效果を理解し、視覚的なメッセージをデザインで伝えることができる。								
	1	【構成手法】デザインの構成手法を理解し、視覚表現に活かすことができる。								
	1	【表現手法】画材・素材の特性や扱い方を理解し、デザイン構成としてまとめることができる。								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解					80			80
		2.思考・判断								
		3.態度								
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							20	20
総合評価割合						80		20	100	
評価の要点										
評価方法		評価の実施方法と注意点								

試験	
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	授業毎に出題される課題を制作・提出。課題に対する理解度と、作成力から、評価を行います。授業時間内(提出期限内)に完成しなかった課題は、指定された日時までに作成、提出すること。
ポートフォリオ	
その他	出席率、授業内容の理解度、作品制作への取り組み方など、総合的に評価します。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	【デザインの基本】テーマ: 画材について学ぶ ・ポスターカラー着彩練習	講義・実習	※課題が時間内に提出出来なかった場合は補講日程最終日までの宿題
第2回	【構成エレメント】テーマ: 色と組み合わせ ・色面の構成 カラーブロック	講義・実習	※課題が時間内に提出出来なかった場合は補講日程最終日までの宿題
第3回	【構成手法】テーマ: 遠近法 ・空気遠近法、グラデーション	講義・実習	※課題が時間内に提出出来なかった場合は補講日程最終日までの宿題
第4回	【構成エレメント】テーマ: バランス ・線と面のみによる平面構成	講義・実習	※課題が時間内に提出出来なかった場合は補講日程最終日までの宿題
第5回	【構成と心理】テーマ: 視覚的メッセージ ・心理効果をふまえた構成(透明感)	講義・実習	※課題が時間内に提出出来なかった場合は補講日程最終日までの宿題
第6回	【構成手法】テーマ: 構成と心理(動き) ・平面構成(静・動)	講義・実習	※課題が時間内に提出出来なかった場合は補講日程最終日までの宿題
第7回	【構成手法】テーマ: 構成と心理(感覚) ・平面構成(イメージ)	講義・実習	※課題が時間内に提出出来なかった場合は補講日程最終日までの宿題
第8回	【構成手法】テーマ: 透視図法(パースペクティブ) ・二点透視図法、立体感	講義・実習	※課題が時間内に提出出来なかった場合は補講日程最終日までの宿題
第9回	【構成手法】テーマ: 面と模様 ・ユニット構成	講義・実習	※課題が時間内に提出出来なかった場合は補講日程最終日までの宿題
第10回	【表現技法】テーマ: 画材の扱い方(透明水彩絵の具) ・透明水彩による重ね塗り	講義・実習	※課題が時間内に提出出来なかった場合は補講日程最終日までの宿題
第11回	【表現技法】テーマ: 画材の扱い方(ポスターカラー) ・厚塗りによる質感表現	講義・実習	※課題が時間内に提出出来なかった場合は補講日程最終日までの宿題

第12回	【表現技法】 テーマ: 合成 ・コラージュ制作	講義・実習	※課題が時間内に提出出来なかった場合は補講日程最終日までの宿題
第13回	【表現技法】 テーマ: 音楽のイメージ ・音楽をイメージした構成	講義・実習	※課題が時間内に提出出来なかった場合は補講日程最終日までの宿題
第14回	■課題解決型授業 【表現技法】 テーマ: 空想イメージ(透明水彩) ・空想の〇〇 ※本授業締め切り時にラフ案をチェックします	講義・実習	※課題が時間内に進行出来なかった場合は次回までの宿題
第15回	■課題解決型授業 【表現技法】 テーマ: 空想イメージ(透明水彩) ・空想の〇〇 完成 ※前回制作したラフ案を基に課題を完成させます	講義・実習	※課題が時間内に提出出来なかった場合は補講日程最終日までの宿題